

[新病院運営計画の重点取組事項の整理状況について]

1. 環境分析 (SWOT 分析)

1	「強み」×「機会」	①得意分野（消化器系、腎・尿路系、がん治療など）の診療を活かした新規患者数の増加 ②高度急性期医療の強化 ③救急医療体制の維持・強化
2	「強み」×「脅威」	④通常の医療とパンデミック対策を同時提供できる体制の構築 ⑤小児医療・周産期医療の維持・拡充 ⑥地域医療機関等との連携強化
3	「弱み」×「機会」	⑦入院延患者数の増加 ⑧高度医療対象患者の増加、手術件数の増加 ⑨救急医療の充実 ⑩看護師の確保
4	「弱み」×「脅威」	⑪入院・外来延患者数の減少への対応 ⑫医療収益率の向上 ⑬職場環境改善（働き方改革、職員確保対策）

※令和2年度決算等のデータを追加し、今後、再分析を実施する予定。

2. 現行実施計画のこれまでの取組み（平成30年度及び令和元年度）

1	医療機能と質の向上	・救急専門医の不在等による救急応需率の低下や手術室の不足等による手術待ち日数の長期化など ⇒救急医療等の政策医療や高度医療への対応 ・医師・看護師等の不足、院内スペースの不足など ⇒医療従事者等の安定的な確保や施設の有効活用による診療機能の向上
2	地域医療連携の推進	・紹介率の低下、「市立豊中病院ネット」参加医療機関増加の鈍化など ⇒地域連携・機能分化の推進
3	患者サービスの向上、職員の働き方の改善	・接遇マナーや待ち時間に関する患者からの苦情、各種相談窓口の点在など ⇒患者サービス・利便性の向上 ・働き方改革による時間外労働規制や高齢患者の増加に伴う業務の増加など ⇒タスクシフト・タスクシェア等による業務負担の軽減、働きやすい環境づくり
4	業務の効率化と経営基盤の確立	・在院日数短縮による空床を上回る新規入院患者を確保できない、収支赤字など ⇒新規入院患者の獲得に向けた取組み ・施設の老朽化、デジタル化の推進による業務の効率化など ⇒施設などの環境整備

※令和2年度の活動実績を追加し、引き続き、整理を行う予定。

3. 重点取組事項の整理状況

■政策医療・高度医療について

- ⇒救急医療の充実
- ⇒小児医療・周産期医療の充実
- ⇒ポスト・コロナ対策（施設の感染症対応など）
- ⇒診療機能の向上（施設の有効活用など）

■地域医療連携について

- ⇒紹介患者数の増加

■経営の安定化について

- ⇒看護師の確保（職員確保対策）
- ⇒新規患者数、入院・外来延患者数の増加
- ⇒医療収益率の向上
- ⇒手術件数の増加
- ⇒デジタル化の推進

■職場環境について

- ⇒働き方改革への取組み（残業抑制、タスクシフト・タスクシェア、ワークライフバランスなど）
- ⇒施設の老朽化への対応
- ⇒休憩室等の職員向け施設の充足

【院内検討における主な意見について】

- ・医師・看護師以外にもタスクシフト・タスクシェアを進めるためコ・メディカルの確保についても検討が必要。
- ・当院の強みをより活かすため、得意分野（消化器系、腎・尿路系、がん治療等）に関する取組みを重点取組事項に加えてはどうか。
- ・デジタル化は、病院の取組み全体に関わる分野として整理する必要がある。
- ・地域医療連携は、紹介患者の増加だけでなく、病病連携など機能分化の推進も重要。
- ・接遇の向上など、患者サービスの視点も取り入れる必要がある。
- ・コロナの影響が読めないため、今後の情勢に柔軟に対応できる計画づくりが重要。
- ・10年先を見据えた今後5年間の計画にしなければならない。
- ・新型コロナの今後の動向は予測できないが、新型コロナに関係なく、病院として普遍的に取り組まなければならないことを見定める必要がある。

など

環境分析の再分析結果等を踏まえ、引き続き、整理を行う。